

Ⅲ事業の実績報告

(令和4年度)

1 地域リハビリテーション推進強化事業

(1) リハビリテーション相談支援事業

① リハビリテーション相談（訪問）

保健福祉事務所名	支援内容	回数	派遣スタッフ
令和4年度は対応なし			

② ALS患者等難病患者に対するコミュニケーション相談（訪問）

保健福祉事務所名	支援内容	回数	派遣スタッフ
仙南	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーション支援機器の説明 身体機能評価及び機種選定の見立て 	1	理学療法士、作業療法士

補装具判定関連の訪問：26件（判定：16件、仮合せ：8件、適合確認：2件）

③ ALS等難病患者に対するコミュニケーション支援に関する情報交換会（集合型）

開催日	内容	参集者
令和4年度は開催なし		

④ 運転相談

種別	件数	人数	内容	
計	10	10		
内訳	来所相談	1	1	支援者、当事者
	電話相談	9	9	運転再開の流れ、自動車改造に係る業者や自動車教習所の情報等

⑤ 展示見学

種別	件数	人数	内容	
計	19	121		
内訳	見学	14	116	支援者、事業者、学生実習等
	相談	5	5	コミュニケーション機器・福祉用具等試用等

⑥ 関連物品貸出状況〈貸出物品数 延べ92件〉

種別	コミュニケーション支援関係									その他	
	重度障害者用意思伝達装置	固定台	入力装置 固定台	呼び鈴	呼び鈴 分岐装置	入力 スイッチ	遠隔制 御装置	音声補 助装置	その他	車いす 等	その他 の福祉 用具
計	15	9	5	8	6	21	1	2	18	1	6

〈貸出先〉

機関	保健福祉事務所					仙台市	医療機関	訪問看護ステーション	障害者 関連施設	その他
	仙南	仙台	北部	東部	気仙沼					
回数	3	4	5	6	0	0	0	1	0	2
物品数	9	12	40	27	0	0	0	2	0	2

⑦ 福祉用具の製作・改造等技術支援

保健福祉事務所名	支援内容
令和4年度は対応なし	

(2) 障害児者支援機能強化事業

① 市町村等事業支援

支援先	内容等	回数
令和4年度は対応なし		

② 県内関係機関・団体とのネットワーク推進

開催日	会議・研修等	主催
R4. 7. 9 R5. 2. 26	「宮城県大規模災害リハビリテーション支援団体協議会（以下、「JRAT-MIYAGI」という）研修会への協力	JRAT-MIYAGI
R4. 10. 20	「宮城県障害者相談員連絡協議会」施設見学会への対応	宮城県障害者相談員連絡協議会
R4. 12. 19	リハビリテーション関係団体との情報交換会の主催 (障害福祉課、県理学療法士会、県作業療法士会、言語聴覚士会、J-RAT MIYAGI)	リハビリテーション支援センター
R5. 2. 3	「宮城県リハビリテーション協議会」事務局として対応	障害福祉課

③ 関係各課事業への協力

開催日	関係課	協力内容	対 象
R4. 7. 27	県総合教育センター	講師対応 「重度・重複障害教育研修会」	公立学校教職員

④ 地域リハビリテーション情報収集

開催日	研修名	テーマ・内容
R4. 7. 9～ R4. 7. 10	全国地域リハビリテーション合同研修大会 in 札幌 2022	未曾有の災害を超えて、地域リハビリテーションをどう守りどう発展させる
R4. 7. 15 R5. 1. 24	仙台市太白障害者福祉センター見学	自立訓練（機能訓練）施設見学
R4. 9. 30～ R4. 10. 1	リハビリテーション・ケア合同研究大会 苫小牧 2022	「覧古考新」 古い事柄から学び、新たなリハケアを描こう
R4. 10. 6 R4. 10. 7	国際福祉機器展（HCR）	最新の福祉機器展示会
R4. 11. 18～ R4. 11. 19	第10回日本難病医療ネットワーク学会学術集会 東京	チームで支える協働意思決定

(3) 障害児者支援人材育成事業

① 介助技術研修会

開催日・会場	内 容	対 象	参加者数
R5. 1. 17 当所及び各保健福祉事務所 個別オンライン型及び会場オンライン型のハイブリッド形式	講義 「離床促進と活動性向上につながる 移乗機器活用の実際」 講師 宮城県介護研修センター 副所長 大場 薫氏	病院、訪問リハビリテーション事業所、訪問看護事業所等で在宅障害者支援に携わるリハビリテーション専門職、市町村職員、障害者施設職員等	30人

(4) 障害児者支援普及啓発事業

① コミュニケーション支援の行政説明

開催日・会場	内 容	対 象	参加者数
R4. 4. 22 当所 個別オンライン 型及び会場オン ライン型のハイ ブリッド形式	①重度障害者用意思伝達装置の対象者 ②重度障害者用意思伝達装置とは ③宮城県のコミュニケーション支援体制 ④事例紹介	市町村身体障害者 福祉担当職員	30人

② コミュニケーション支援機器研修

開催日・会場	内 容	対 象	参加者数
R4. 12. 21 当所	①コミュニケーション支援について ②宮城県のコミュニケーション支援体制 ③コミュニケーション機器に係る制度概要 ④意思伝達装置を活用した支援の実施 ⑤意思伝達装置「伝の心」・「TC スキャン」、 各種スイッチ等の体験	障害者相談支援事 業所、訪問看護ス テーション、市町 村職員等	18人

③ 障害の理解啓発セミナー

開催日・会場	内 容	対 象	参加者数
R5. 2. 28 当所及び各保健福 祉事務所 個別オンライン型 及び会場オンライ ン型のハイブリッ ド形式	講話 「知的・発達障害者の加齢に伴う心身機能 低下への対応とライフステージに合わせ た健康“管理”に関する支援」 終了後、情報交換会（自由参加） 講師 国立重度知的障害者総合施設のぞみの園 研究員・参事 根本昌彦氏	障害福祉サービス 事業所、訪問看護 ステーション、市 町村職員等	88人

④ 福祉用具セミナー

開催日・会場	内 容	対 象	参加者数
R5. 3. 14 当所 個別オンライン 型及び会場集合 型のハイブリッ ド形式	①福祉用具に関する制度 (聴覚障害者向け補装具を中心に) ②聴覚障害者の自立生活を支える福祉用具 ③聴覚障害者向け福祉用具の展示・体験	障害福祉サービス 事業所、訪問看護 ステーション、市 町村職員等	30人

⑤ プログラム・ツール等の更新

タイトル	内 容
コミュニケーション支援サポートブック (基礎編、応用編)	内容を更新し、ホームページに掲載

(5) 調査・研究事業

調 査 内 容	回数
宮城県内のリハビリテーション関係診療報酬基準取得状況調査	1
リハビリテーション科に従事する医師数調査	1
リハビリテーション専門職養成課程の卒業生の就職状況等調査	1
病院・診療所、介護サービス施設・事業所におけるリハビリテーション専門職の従事状況調査	1

(6) 実務者会議等

会議、研修名	回数	参集者
実務者会議	2回	障害福祉課、 各保健福祉事務所
担当者情報交換会	1回	各保健福祉事務所
担当職員研修	3回	各保健福祉事務所

2 身体障害者更生相談事業

政令指定都市である仙台市を除く県内の身体障害者に対し、身体障害者手帳の交付を行うとともに、身体障害者の福祉の推進を図るため、補装具の支給に当たっての判定・相談や障害の程度を軽減する医療（自立支援医療）の要否判定等を行い、身体障害者の日常生活能力の回復・向上を目指し、社会参加活動の促進を支援しました。また、身体障害者福祉に携わる関係者に対して研修会等を開催するなど技術的な支援を行いました。

(1) 身体障害者手帳の交付等

① 身体障害者手帳交付処理件数調

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	188	288	240	227	306	157	293	244	213	209	222	233	2,820
再交付	116	176	108	162	124	103	163	137	116	107	117	122	1,551
計	304	464	348	389	430	260	456	381	329	316	339	355	4,371

② 身体障害者障害別・程度別一覧

(単位：人)

障害別 等級	視覚障害	聴覚・平衡 機能	音声・言語 ・そしゃく 機能	肢体不自由	内部障害	計
1級	899	46	18	3,622	9,598	14,183
2級	843	973	29	4,292	194	6,331
3級	181	441	294	3,729	2,516	7,161
4級	214	859	188	5,573	4,058	10,892
5級	332	16		3,524		3,872
6級	171	1,122		1,333		2,626
計	2,640	3,457	529	22,073	16,366	45,065
構成比	5.9%	7.7%	1.2%	48.9%	36.3%	100.0%

(令和5年3月31日現在、仙台市を除く。)

③ 身体障害者手帳交付状況・所持件数の推移

(単位：所持者数)

障害別 年度	視覚障害	聴覚・平衡 機能	音声・言語・ そしゃく機能	肢体不自由	内部障害	計
H30	2,981	3,693	598	24,956	16,489	48,717
R1	2,969	3,717	572	24,288	16,652	48,198
R2	2,830	3,608	552	23,288	16,505	46,783
R3	2,717	3,497	529	22,621	16,383	45,747
R4	2,640	3,457	529	22,073	16,366	45,065

(参考) 仙台市

R4	2,257	2,481	424	15,588	11,715	32,465
----	-------	-------	-----	--------	--------	--------

(注) 重複障害者の場合は、より重い障害の方に、障害程度が同じ場合には表の中で左側にあるように計上している。

④ 障害等級別身体障害者手帳所持者

(単位：所持者数)

障害名	級	県	仙台市	合計	障害名	級	県	仙台市	合計
視覚障害	1	899	752	1,651	機能障害 心臓	1	6,150	4,439	10,589
	2	843	793	1,636		2	61	41	102
	3	181	100	281		3	1,303	909	2,212
	4	214	167	381		4	1,444	899	2,343
	5	332	368	700		計	8,958	6,288	15,246
	6	171	77	248		1	3,182	2,333	5,515
聴覚障害	計	2,640	2,257	4,897	機能障害 じん臓	2	28	28	56
	1	45	46	91	3	552	331	883	
	2	972	723	1,695	4	20	9	29	
	3	428	217	645	計	3,782	2,701	6,483	
	4	857	624	1,481	機能障害 呼吸器	1	179	93	272
	5	5	3	8	2	20	19	39	
平衡機能障害	6	1,122	846	1,968	3	508	444	952	
	計	3,429	2,459	5,888	4	134	78	212	
	1	1	0	1	計	841	634	1,475	
	2	1	0	1	機能障害 ぼうこう・ 直腸	1	14	8	22
	3	13	7	20		2	14	8	22
	4	2	0	2		3	123	90	213
5	11	15	26	4		2,422	1,703	4,125	
計	28	22	50	計		2,573	1,809	4,382	
機能障害 そしゃく 音声言語	1	18	30	48	機能障害 小腸	1	14	18	32
	2	29	28	57		2	5	3	8
	3	294	205	499		3	9	5	14
	4	188	161	349		4	14	5	19
	計	529	424	953		計	42	31	73
肢体不自由	1	3,622	3,065	6,687	機能障害 免疫	1	8	18	26
	2	4,292	3,066	7,358		2	39	82	121
	3	3,729	2,594	6,323		3	10	37	47
	4	5,573	3,776	9,349		4	16	29	45
	5	3,524	2,248	5,772		計	73	166	239
	6	1,333	839	2,172	機能障害 肝臓	1	51	62	113
	計	22,073	15,588	37,661		2	27	15	42
※重複障害は重い方に計上				3		11	3	14	
				4		8	6	14	
				計	97	86	183		
				合計	45,065	32,465	77,530		

(2) 補装具の処方及び適合判定

① 判定・相談依頼の状況（市町村別）

（単位：件）

	来所相談				巡回相談	合計			
	肢体 不自由	聴覚	視覚	計	肢体 不自由	肢体 不自由	聴覚	視覚	計
石巻市	20	40	0	60	51	71	40	0	111
塩竈市	26	20	0	46	6	32	20	0	52
気仙沼市	2	17	0	19	38	40	17	0	57
白石市	8	11	0	19	11	19	11	0	30
名取市	40	14	0	54	1	41	14	0	55
角田市	5	5	0	10	4	9	5	0	14
多賀城市	21	16	0	37	1	22	16	0	38
岩沼市	25	12	0	37	3	28	12	0	40
登米市	9	7	0	16	37	46	7	0	53
栗原市	6	27	0	33	27	33	27	0	60
東松島市	5	12	0	17	14	19	12	0	31
大崎市	7	25	0	32	58	65	25	0	90
富谷市	8	14	0	22	6	14	14	0	28
蔵王町	4	2	0	6	3	7	2	0	9
七ヶ宿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大河原町	10	6	0	16	2	12	6	0	18
村田町	2	2	0	4	1	3	2	0	5
柴田町	16	12	0	28	3	19	12	0	31
川崎町	4	3	0	7	1	5	3	0	8
丸森町	9	4	0	13	3	12	4	0	16
亘理町	15	7	0	22	1	16	7	0	23
山元町	3	3	0	6	1	4	3	0	7
松島町	4	4	0	8	2	6	4	0	10
七ヶ浜町	14	1	0	15	1	15	1	0	16
利府町	8	11	0	19	11	19	11	0	30
大和町	6	5	0	11	4	10	5	0	15
大郷町	0	0	0	0	3	3	0	0	3
大衡村	2	1	0	3	1	3	1	0	4
色麻町	1	0	0	1	3	4	0	0	4
加美町	1	4	0	5	13	14	4	0	18
涌谷町	2	4	0	6	6	8	4	0	12
美里町	4	3	0	7	9	13	3	0	16
女川町	0	2	0	2	4	4	2	0	6
南三陸町	1	5	0	6	0	1	5	0	6
県外	1	0	0	1	3	4	0	0	4
合計	289	299	0	588	332	621	299	0	920

※判定依頼書・相談依頼書受案件数

② 判定・相談の実施状況（市町村別）

（単位：件）

	所内相談						巡回相談			合計			
	肢体不自由			聴覚	視覚	計	肢体不自由			肢体不自由	聴覚	視覚	計
	来所	文書	計				巡回	在宅	計				
石巻市	39	4	43	40	0	83	75	11	86	129	40	0	169
塩竈市	33	22	55	20	0	75	4	6	10	65	20	0	85
気仙沼市	8	0	8	17	0	25	62	4	66	74	17	0	91
白石市	22	1	23	11	0	34	13	3	16	39	11	0	50
名取市	79	0	79	14	0	93	0	2	2	81	14	0	95
角田市	11	0	11	5	0	16	4	2	6	17	5	0	22
多賀城市	18	21	39	16	0	55	2	0	2	41	16	0	57
岩沼市	51	0	51	12	0	63	2	3	5	56	12	0	68
登米市	6	9	15	7	0	22	56	9	65	80	7	0	87
栗原市	13	2	15	27	0	42	46	1	47	62	27	0	89
東松島市	11	2	13	12	0	25	23	1	24	37	12	0	49
大崎市	25	0	25	25	0	50	96	12	108	133	25	0	158
富谷市	19	0	19	14	0	33	3	5	8	27	14	0	41
蔵王町	5	2	7	2	0	9	4	0	4	11	2	0	13
七ヶ宿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大河原町	15	5	20	6	0	26	1	1	2	22	6	0	28
村田町	3	0	3	2	0	5	2	0	2	5	2	0	7
柴田町	21	6	27	12	0	39	0	6	6	33	12	0	45
川崎町	6	0	6	3	0	9	0	1	1	7	3	0	10
丸森町	17	3	20	4	0	24	3	1	4	24	4	0	28
亘理町	28	0	28	7	0	35	1	0	1	29	7	0	36
山元町	6	0	6	3	0	9	0	1	1	7	3	0	10
松島町	7	2	9	4	0	13	2	0	2	11	4	0	15
七ヶ浜町	14	16	30	1	0	31	2	0	2	32	1	0	33
利府町	12	8	20	11	0	31	18	1	19	39	11	0	50
大和町	17	0	17	5	0	22	4	0	4	21	5	0	26
大郷町	0	0	0	0	0	0	4	0	4	4	0	0	4
大衡村	5	0	5	1	0	6	2	0	2	7	1	0	8
色麻町	4	0	4	0	0	4	5	0	5	9	0	0	9
加美町	2	0	2	4	0	6	21	3	24	26	4	0	30
涌谷町	4	1	5	4	0	9	12	0	12	17	4	0	21
美里町	4	5	9	3	0	12	19	1	20	29	3	0	32
女川町	0	0	0	2	0	2	8	0	8	8	2	0	10
南三陸町	0	3	3	5	0	8	1	1	2	5	5	0	10
県外	1	0	1	0	0	1	2	1	3	4	0	0	4
合計	506	112	618	299	0	917	497	76	573	1,191	299	0	1,490

※判定（適合判定・仮合せを含む）、相談の実施件数

③ 補装具判定結果の状況（種目別・年度別）

（単位：個）

年 度	義 手	義 足	下肢装具				靴型装具	体 幹 装 具	上 肢 装 具	義 眼	眼 鏡	補 聴 器	電 動 車 椅 子	車椅子			歩 行 器	座 位 保 持 装 置	意 思 伝 達 装 置	そ の 他	計
			長 下 肢 装 具	短 下 肢 装 具	膝 装 具	そ の 他								自 走 式	介 助 用	そ の 他					
H30	19	71	7	319	9	25	38	2	4	0	0	316	41	127	55	0	2	22	20	6	1,083
R1	16	80	18	329	14	53	48	2	6	0	0	347	28	109	61	4	2	25	24	8	1,174
R2	11	58	9	298	21	34	29	1	8	0	0	338	36	80	26	3	0	18	8	8	986
R3	8	55	8	277	4	28	19	2	4	0	0	293	23	78	27	15	0	19	12	12	884
R4	22	73	8	314	12	22	27	3	5	0	0	299	34	95	34	5	3	23	13	3	995

④ 特例補装具判定状況

種 別	名 称	判定件数	判定結果	
			適	否
電動車椅子	普通型	1	1	0
	電動リフト・リクライニング・ティルト式	1	1	0
	電動リフト・ティルト式	1	1	0
計		3	3	0

⑤ 難病に伴う補装具判定状況

判定 件数	手帳 あり	手帳 なし	病 名	件数	補装具種目	件数
25	24	1	筋萎縮性側索硬化症	6	車椅子	6
			筋ジストロフィー	2	電動車椅子	2
			慢性炎症性脱髄性多発神経炎	2	意思伝達装置	11
			多系統萎縮症	2	下肢装具	1
			シャルコー・マリー・トウス病	2	上肢装具（BFO）	1
			全身性エリテマトーデス	1	座位保持装置	1
			その他	10		

※補装具の合計は判定件数と一致しない場合がある。

(3) 自立支援医療（更生医療）の要否判定及び医療機関の指定

① 判定の実施状況（市町村別・障害別）

（単位：件）

	腎臓	心臓	小腸	肝臓	免疫	肢体	口蓋	聴覚	その他	計		腎臓	心臓	小腸	肝臓	免疫	肢体	口蓋	聴覚	その他	計
	石巻市	160	0	1	1	9	8	2	0	0		181	丸森町	11	1	0	0	2	2	0	0
塩竈市	21	2	0	0	4	2	0	0	0	29	亙理町	22	0	0	1	1	14	4	0	0	42
気仙沼市	17	0	0	1	1	2	2	0	0	23	山元町	2	0	1	0	1	1	0	0	0	5
白石市	22	0	0	1	3	6	0	0	0	32	松島町	25	0	0	0	0	0	0	0	0	25
名取市	45	0	0	1	4	21	5	0	0	76	七ヶ浜町	11	1	0	0	1	0	0	0	0	13
角田市	15	0	0	0	1	9	0	0	0	25	利府町	13	0	0	0	3	0	0	0	0	16
多賀城市	20	2	1	3	2	8	5	0	0	41	大和町	2	0	0	0	0	1	0	0	0	3
岩沼市	11	0	0	1	6	18	3	0	0	39	大郷町	2	0	0	0	0	1	0	0	0	3
登米市	53	1	0	0	2	10	4	0	0	70	大衡村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栗原市	76	0	0	0	1	15	0	0	0	92	色麻町	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
東松島市	30	0	0	0	5	1	0	0	0	36	加美町	8	0	0	0	1	2	2	0	0	13
大崎市	128	1	0	0	9	8	0	0	0	146	涌谷町	15	0	0	0	3	2	0	0	0	20
富谷市	41	0	0	2	0	0	0	0	0	43	美里町	16	0	0	1	1	0	0	0	0	18
蔵王町	3	0	0	0	0	4	0	0	0	7	女川町	15	0	0	0	0	0	0	0	0	15
七ヶ宿町	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	南三陸町	3	0	0	0	0	1	0	0	0	4
大河原町	13	0	0	0	0	4	0	0	0	17											
村田町	9	1	0	0	2	2	0	0	0	14											
柴田町	14	0	0	1	4	8	0	0	0	27											
川崎町	3	0	0	0	1	8	0	0	0	12	計	830	9	3	13	67	159	27	0	0	1,108

② 医療機関指定等処理状況

（単位：件）

	病院・診療所	薬局	訪問看護
新規	1	16	1
廃止	1	9	0
辞退	0	0	0
変更	4	94	1
更新	3	27	2
満了	0	1	0
計	9	147	4

(4) 地域リハビリテーション推進事業

① 身体障害者地域リハビリテーション相談事業

地域における身体障害者のリハビリテーションの充実強化を目的に、保健、医療、福祉等の各関係機関との連携を図りながら、補装具判定等で相談会場に来所困難な重度身体障害者、又は在宅で相談・指導を行う方がより効果的と思われる対象者に対して、在宅訪問を関係機関の担当職員との協力のもとに実施しました。

② 補装具適正化事業

補装具製作事業者研修会については、下記のとおり実施しました。福祉用具関係職員研修会については新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止しました。

補装具判定業務に関しては、外部からの委員も参加して開催する補装具判定審査会（1回）及び所内の職員で構成する補装具判定検討委員会（定例5回、臨時3回）を開催しました。

補装具判定審査会では、特例補装具の判定状況と難病患者等に対する補装具の取扱いなどについて、補装具判定検討委員会では判定困難事例や内規の改正などについて協議を行いました。

イ 補装具適正化研修

研修名	実施状況 (年月日)	会場	研修対象者	参加者数	研修内容
福祉用具等関係職員研修会	新型コロナウイルス感染症対策等の理由により中止。		市町村身体障害者福祉担当職員		
補装具適正化研修 (補装具製作事業者研修会)	R5.3.9 対面により実施	当所	補装具製作業者等	29名	「補装具判定業務を振り返って」「補装具費支給制度の課題」

ロ 補装具判定審査委員会

年月日	内容
R5.3.2	(1) 令和4年度 特例補装具判定状況について <ul style="list-style-type: none"> ・病的肥満・知的障害を伴う脳卒中片麻痺に対する電動車椅子の再支給事例 ・頸髄損傷に対する電動リフト・リクライニング・ティルト付電動車椅子支給事例 ・筋ジストロフィーに対する電動リフト・ティルト付電動車椅子支給事例 (2) 事例紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・医療保険で義足を作製していない切断例への対応 ・C-legへのアップグレードを認めた大腿義足の一例 ・車椅子座位姿勢安定のため電動車椅子の修理を検討した事例

ハ 補装具判定検討委員会（定例）

年月日	内 容
R4. 5. 27	<ul style="list-style-type: none"> ・補装具関連業務の今年度の体制について ・補装具判定審査会外部委員について ・厚生労働省科学研究「補装具費支給制度におけるフォローアップ体制の有効性」検証のための研究について ・補装具フォローアップ事業（令和3年度の状況）について ・ミニレクチャー「補装具判定の心構え」
R4. 7. 29	<ul style="list-style-type: none"> ・「補装具の効果的なフォローアップに関する座談会」について ・補聴器意見書の改訂について ・デジタル補聴援助システムの判定について
R4. 10. 28	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度補装具判定審査会について ・標準靴への加工について ・CBブレースの種目名称別コードについて
R4. 12. 16	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の所内・巡回相談について ・令和4年度補装具判定審査会について ・電動車椅子等の算定について ・補装具事業者研修会について ・補装具フォローアップ研究費の購入備品について
R5. 2. 9	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度 補装具判定検討委員会・審査会の予定について ・デジタルカタログの整備について ・価格高騰への対応について ・来年度の判定業務の基本的考え方の確認

二 補装具判定検討委員会（臨時）

年月日	内 容
R4. 7. 8	<ul style="list-style-type: none"> ・電動車椅子（特例補装具）の支給について
R4. 10. 27	<ul style="list-style-type: none"> ・電動車椅子（特例補装具）の支給について
R4. 11. 22	<ul style="list-style-type: none"> ・電動車椅子（特例補装具）の支給について

③ 障害者支援施設利用者相談事業

補装具を使用している障害者支援施設等の利用者に対し、補装具使用状況の確認や使用環境の評価、また、職員に対して補装具の装着や使用方法を指導する等の支援を行っています。

令和4年度は補装具判定（仮合わせ・適合判定を含む）を施設で行った41回のうち、3回について、使用状況、使用環境の確認を行い、適切な補装具の支給につなげました。

④ 身体障害者福祉担当職員等研修会

研修名	実施年月日	会場	研修対象者	参加者数	研修内容
身体障害者福祉担当新任職員研修会	R4. 4. 22	当所	市町村身体障害者福祉担当職員(仙台市を除く)	各市町村 30名	「身体障害者更生相談所概論」 「身体障害者手帳について」 「自立支援医療（更生医療）について」 「補装具の基礎知識」 「補装具の判定について」 等
身体障害者福祉担当現任職員研修会			市町村身体障害者福祉担当職員(仙台市を除く)		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

⑤ 地域生活支援スタッフ研修会

障害者に対し、地域リハビリテーション推進のために取り組んでいる専門技術職を対象に研修会を開催し、ネットワークづくりを図っています。

日時：令和4年12月8日(木) 午後4時から午後5時30分まで（オンライン研修）

内容：第1部 「障がい者支援を考える～障がい者の生活を見る視点」

講師：宮城県リハビリテーション支援センター

技術参事 檜本 修

第2部 「障害者更生相談所の役割」

講師：宮城県リハビリテーション支援センター

技術副参事兼技術次長 西嶋 一智

参加者：33名

※新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインにて開催。

3 知的障害者更生相談事業

政令指定都市である仙台市を除く県内の 18 歳以上の知的障害者に対する判定やこれに付随する相談支援を行うとともに、児童 (18 歳未満) 及び 18 歳以上の方に対して療育手帳の交付を行いました。

加えて、18 歳以上の知的障害者及び保護者からの依頼により、判定結果を記載した証明書を発行しました。

また、市町村等の職員を対象とした研修会や支援困難ケースに対する後方支援を行いました。

(1) 療育手帳交付に係る事務処理状況

① 県内の療育手帳所持者数の推移 (仙台市を除く。)

県内の療育手帳所持者数の推移は下表のとおりです。令和 4 年度末現在の療育手帳所持者 (仙台市を除く。) は、12,602 名です。

(単位：人)

年度	計	A (重度)			B (中軽度)		
		児童	18 歳以上	計	児童	18 歳以上	計
H30	11,735	595	3,907	4,502	1,997	5,236	7,233
R 1	12,027	611	3,956	4,567	2,017	5,443	7,460
R 2	12,310	601	3,997	4,598	2,081	5,631	7,712
R 3	12,600	625	4,036	4,661	2,131	5,808	7,939
R 4	12,602	649	3,928	4,577	2,137	5,888	8,025

② 療育手帳交付事務処理状況

令和 4 年度の療育手帳交付に係る申請事務の処理状況は下表のとおりです。ここでは、年度内に事務処理を完了させたものについて計上しています。令和 4 年度は 438 件の手帳交付を行いました。

「療育手帳交付」及び「交付申請却下」には、新規申請と転入による申請が含まれています。「記載事項変更」は、転居や婚姻等による住所や姓の変更及び保護者の高齢化や死亡による保護者の変更等です。「再交付」は紛失や破損等によるものです。「返還」は、他の自治体への転出や死亡、再判定の結果、非該当となったこと等によるものです。

(単位：件)

区分	療育手帳 交付	交付申請 却下	記載事項 変更	再交付	返 還
児 童	364	95	139	38	46
18 歳以上	74	2	515	231	412
計	438	97	654	269	458

(2) 相談判定の実施状況

療育手帳相談の内訳は、療育手帳交付申請のための相談が79件(7.6%)で、療育手帳交付後の障害程度確認のための再判定に係る相談が965件(92.4%)となっています。

以下は、相談判定の実施状況を示したものです。判定は所内もしくは巡回による面接により実施するものと、書面により実施するものがあります。令和4年度は143件(64回)の面接判定を実施しました。また、901件の書類判定を実施しました。

① 判定実施状況

(単位：回，件)

		回数	件数
面接判定	来所相談	27	71
	巡回相談	37	72
書類判定		-	901
計		64	1,044

② 巡回相談実施状況

(単位：回，件)

広域圏	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 本吉	その他	計
相談会場 (保健福祉 事務所)	県仙南	県大崎	県栗原	県登米・ 登米市 南方庁舎	県石巻・ 東松島市 役所	県 気仙沼	自宅・ 施設等	
回数	0	12	4	7	9	4	1	37
件数	0	30	5	13	18	5	1	72

③ 知的障害者相談の地域別状況

(単位：件)

相談内容別 市町村 (広域圏)		療育手帳		合計	交付申請に係る 判定の結果			
		交付 申請	再判定		A	B	非該当	
仙南	白石市	5	34	39	156	1	4	0
	角田市	2	17	19		0	2	0
	蔵王町	1	14	15		0	1	0
	七ヶ宿町	0	2	2		0	0	0
	大河原町	0	22	22		0	0	0
	村田町	3	8	11		0	3	0
	柴田町	5	20	25		0	5	0
	川崎町	1	9	10		1	0	0
	丸森町	1	12	13		1	0	0
仙台	塩竈市	4	17	21	281	0	4	0
	名取市	0	46	46		0	0	0
	多賀城市	4	47	51		0	3	1
	岩沼市	2	28	30		0	2	0
	富谷市	2	29	31		0	2	0
	亘理町	1	18	19		0	1	0
	山元町	0	8	8		0	0	0
	松島町	2	4	6		0	2	0
	七ヶ浜町	1	15	16		0	1	0
	利府町	2	21	23		1	1	0
	大和町	6	20	26		2	4	0
	大郷町	0	2	2		0	0	0
大衡村	0	2	2	0	0	0		
大崎	大崎市	9	125	134	213	0	8	1
	色麻町	0	7	7		0	0	0
	加美町	1	20	21		0	1	0
	涌谷町	1	22	23		0	1	0
	美里町	1	27	28		0	1	0
栗原	栗原市	8	85	93	93	1	7	0
登米	登米市	6	62	68	68	0	6	0
石巻	石巻市	5	115	120	169	0	5	0
	東松島市	2	42	44		0	2	0
	女川町	0	5	5		0	0	0
気山沼 本吉	気仙沼市	2	45	47	64	0	2	0
	南三陸町	2	15	17		0	2	0
合計		79	965	1,044		7	70	2

④ 判定結果

(単位：件)

区 分		交付申請	再判定	計
A	最重度	3	41	44
	重 度	3	51	54
B	中 度	35	435	470
	軽 度	36	438	474
非該当		2	0	2
計		79	965	1,044

⑤ 療育手帳所持者の年齢別状況

(単位：人、%)

区分	18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	計	割合
男	85	243	149	82	73	32	664	63.6%
女	46	117	83	72	45	17	380	36.4%
計	131	360	232	154	118	49	1,044	
割合	12.5%	34.5%	22.2%	14.8%	11.3%	4.7%		

⑥ 療育手帳所持者の合併障害状況

(単位：人)

年 度		H30	R1	R2	R3	R4
全 体		952	1,033	1,055	1,022	1,044
精神障害	てんかん	135	158	157	128	158
	統合失調症	41	47	65	63	54
	そううつ病	20	19	7	12	20
	心因反応	4	5	4	3	5
	そ の 他	97	138	243	252	248
	発 達 障 害	-	-	-	204	209
	計	297	367	476	458	485
身体障害	肢体不自由	66	76	86	62	66
	視 覚 障 害	8	3	14	11	11
	聴 覚 障 害	5	9	11	7	7
	音声・言語障害	3	4	1	3	0
	内 部 障 害	10	7	14	17	17
	計	92	99	126	100	101
合併障害なし		623	651	730	527	559

※ 複数の障害がある場合はそれぞれに計上。「その他」のうち、「発達障害」を再掲。

⑦ 療育手帳判定件数及び証明書等発行件数の年度別推移

18歳以上の知的障害者及び保護者からの依頼により、判定結果を記載した証明書を発行しています。また、18歳以上の知的障害者及び保護者の同意に基づき、他機関への判定に係る情報提供を実施しています。令和4年度は合わせて226件の依頼がありました。

(単位：件)

年 度	療育手帳判定	証明書等発行
H30	952	260
R 1	1,033	265
R 2	1,054	238
R 3	1,022	239
R 4	1,044	226

(3) 知的障害者福祉担当職員研修会の開催

研修名	実施年月日	対象者	研修内容	参加者
知的障害者福祉担当新任職員研修会	書面開催 (R4.5.13)	知的障害者に関する福祉行政を担当する市町村職員及び児童相談所職員等の新任職員	(1)療育手帳制度の概要 (2)知的障害の定義と判定基準 (3)療育手帳交付事務及び18歳以上の方における相談判定事務について (4)18歳未満の児童における療育手帳相談判定事務について (5)低年齢児の療育手帳新規申請に係る留意事項について	※県内市町村(仙台市除く)及び各児童相談所等に資料送付

(4) 地域生活支援の推進

市町村等から相談を受け、支援が困難なケースに対する支援方法についてともに検討を行いました。また、療育手帳判定の対象者の中にも困難ケースがあり、判定後に市町村等の職員を交えた判定会議を開催し、支援方法について検討を行いました。

4 診療部門における リハビリテーション事業

(1) 障害者医療相談事業（障害者クリニック）

(2) 外来利用者のリハビリテーション医療

診療所では、リハビリテーション科・整形外科・脳神経外科を設置し、受診を希望する方からの予約や医療機関からの紹介を受け、各種相談やボツリヌス療法及び障害年金申請用診断書等の作成や理学療法・作業療法・言語療法を実施しています。施設基準は、障害児（者）リハビリテーション料、脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅲ）、運動器等リハビリテーション料（Ⅱ）を取り、疾患別リハビリテーションを行っています。

現在のリハビリテーション利用者は、専門医の判断でリハビリテーションの継続が有効であると判断された方です。具体的には、今後もリハビリテーションの介入により機能改善や能力の向上が期待される方、成人の脳性麻痺の方や、若年および壮年期の脳血管障害等で就労や職場復帰を目標としている方などです。

①令和4年度外来診療状況（延べ人数）

（単位：件）

月 区分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		初診及び再診	114	122	118	114	106	109	110	97	99	98	107	110
主な延べ内訳	理学療法	56	47	48	47	50	45	47	40	49	50	50	52	581
	作業療法	11	16	18	18	15	16	19	16	15	18	15	14	191
	言語療法	7	5	5	6	4	6	6	6	6	5	5	6	67
	年金・手帳の診断書	3	8	9	7	7	1	5	4	7	3	4	3	61
	ボツリヌス療法	8	13	7	5	10	8	5	5	3	6	9	5	84
	検査(知能・認知・神経)	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	4
令和3年度 初診及び再診		125	110	133	123	122	51	151	143	147	127	122	106	1,460

②リハビリテーション実施患者の状況（実83人）

1) 疾患別

疾患名	件数	割合
脳血管疾患	6	7.2%
脳外傷等	5	6.0%
脊髄損傷、その他脊髄疾患（二分脊椎等）	2	2.4%
関節リウマチ、その他の骨関節疾患（外傷を含む）	0	0%
神経及び筋疾患	2	2.4%
脳性麻痺、その他小児疾患	65	78.3%
切断	0	0%
呼吸器・循環器疾患	0	0%
その他（悪性腫瘍、熱傷等）	2	2.4%
ポリオ	1	1.2%
計	83	

2) 年齢構成

年代	人数	割合
10代	0	0%
20代	28	33.7%
30代	34	41.0%
40代	12	14.5%
50代	7	8.4%
60代	1	1.2%
70代	1	1.2%
80代	0	0%
合計	83	

3) 居住地

圏域	人数	割合
仙南	11	13.3%
仙台	23	27.7%
大崎	2	2.4%
栗原	2	2.4%
登米	2	2.4%
石巻	5	6.0%
気仙沼	1	1.2%
仙台市	37	44.6%
合計	83	

(3) 障害者検診事業

平成 25 年度からポリオ等による肢体不自由の方を対象に、身体機能やADLの低下を早期に発見し、二次障害の予防、機能の維持・改善、症状緩和を目的に、身体状況の評価等の検診を始めました。受検された方の満足度が高く、平成 26 年度から身体障害者手帳（肢体不自由）を所持している 18 歳以上の方等に対象を拡大しました。

また、センター会場の他、遠方に住んでいるためセンターにおいて受検するのが困難な障害者が、移動負担の少ない近場での受検ができるように、平成 30 年度から試行的に 6 圏域（気仙沼、登米、石巻、栗原、大崎、仙南）での巡回検診に取り組み、令和 2 年度から定例で実施しました。

① 実施場所（実施回数・定員）

圏域	会場名	所在地	実施日	定員 ※1回 あたり	計	
仙南	大河原合同庁舎	大河原町	8月10日	5	5	
仙台	1 リハビリテーション 支援センター	名取市	5月25日、6月1日 7月6日、9月28日 10月26日、11月30日 12月7日	6 (※)	39	
	2 利府町保健福祉センター	利府町	7月22日、10月21日	5	10	
大崎	大崎合同庁舎	大崎市	6月15日、10月12日	5	10	
栗原	栗原合同庁舎	栗原市	7月27日	5	5	
登米	登米市南方保健センター	登米市	9月14日	5	5	
石巻	石巻合同庁舎	石巻市	11月9日	5	5	
気仙沼	気仙沼保健福祉事務所	気仙沼市	8月24日	5	5	
			センター	7	-	39
			巡回検診	9	-	45
			計	16	-	84

※7月6日は午後のみの実施で定員3名

② 検診内容

項目	内容	備考
問診等	問診票、FAI自己評価表（IADLの評価表）、SF-36（QOLの評価表）の記入	問診票、IADL（手段的日常生活活動：家事、金銭管理、趣味等）、QOL（生活の質）に関する質問に対して、自身で記入する。（書字が困難な場合は介助者でも可）
測定	身長・体重・血圧・握力・肺活量	
計測	四肢周径・四肢長	仰向けで左右の手足の長さ・太さを計測する。
評価	FIM：日常生活動作の評価	セルフケア・排泄・移乗・移動に関して、本人（家族）に聞き取り、評価する。
	MMT：筋力の評価	評価者の指示に沿って体を動かし、筋力を評価する。
	ROM：関節可動域の評価	評価者が手足等を動かして、関節の動く範囲を計測する。
	10m歩行速度：歩行能力の評価	歩行が可能な方については、歩く速さを計測する。
医療相談	リハビリテーション科医師による医療相談を実施する。	医師が結果を伝え、個々の相談に応じる。必要な場合には医療機関への受診の提案、利用可能な制度の情報提供、補装具・動作の工夫に関する助言等を行う。
生活指導	医療相談で必要と判断された場合に専門職が実施する。	
保健指導		

③ 受検者数（新規・複数回別）の推移

年度 項目	R2		R3		R4	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
新規	29	51.8%	31	63.3%	20	54.1%
複数回	27	48.2%	18	36.7%	17	45.9%
計	56		49		37	

④ 受検者数（会場別）

項目	定員	実施	実施率
大河原合同庁舎	5	3	60.0%
リハビリテーション支援センター	39	18	70.2%
利府町保健福祉センター	10	2	20.0%
大崎合同庁舎	10	3	30.0%
栗原合同庁舎	5	4	80.0%
登米市南方農業環境改善センター	5	4	80.0%
石巻合同庁舎	5	2	40.0%
気仙沼保健福祉事務所	5	1	20.0%
計	84	37	44.0%

⑤ 年齢構成

項目	人数	割合
18～29歳	2	5.4%
30～39歳	3	4.7%
40～49歳	1	2.7%
50～59歳	3	8.1%
60～69歳	12	32.4%
70～79歳	13	35.1%
80歳以上	3	8.1%
計	37	
平均年齢	64.5歳	-

⑥ 男女構成

項目	人数	割合
男性	14	37.8%
女性	23	62.2%
計	37	

⑦ 身体障害者手帳の所有状況

項目	人数	割合
1級	5	13.5%
2級	6	16.2%
3級	0	0%
4級	11	29.7%
5級	4	10.8%
6級	1	2.7%
7級	0	0.0%
無	2	5.4%
合計	37	

⑧ 主傷病

項目	人数	割合
ポリオ	10	27.0%
骨・関節疾患	7	18.9%
脳血管疾患(頭部外傷含む)	5	13.5%
脳性麻痺	5	13.5%
神経・筋疾患	3	8.1%
脊髄疾患	3	8.1%
呼吸器・循環器疾患	0	0%
その他	4	10.8%
計	37	

⑨ 自覚症状

(複数回答あり)

項目	計	割合
歩行障害	13	13.4%
筋力低下	13	13.4%
痛み	15	15.5%
身体の変形	7	7.2%
疲労感	4	4.1%
つっぱり	8	8.2%
しびれ	9	9.3%
筋肉が痩せた	9	9.3%
冷感	3	3.1%
息切れ	3	3.1%
飲み込みにくさ	2	2.1%
その他	11	11.3%

⑩ 医療相談における医師からの助言内容

(複数回答あり)

項目	件数	割合
経過観察	25	41.0%
補装具助言	11	18.0%
他院受診の提案	7	11.5%
運動指導	1	1.6%
当院受診の提案	1	1.6%
その他	16	26.2%

5 高次脳機能障害者支援事業

高次脳機能障害者支援事業は当センター支援コーディネーター（作業療法士2名）を中心に相談事業や研修事業を行いました。

(1) 相談事業

① 相談

相談形態	実人数	延人数	相談者（延）		居住地（延）		
			本 家 族	支 援 者 等	県内	仙台市	他・不明
電話相談	49	53	27	26	31	5	17
来所相談	5	7	6	1	7	0	0
家族相談	0	0	0	0	0	0	0
メール相談	0	0	0	0	0	0	0
計	54	60	33	27	38	5	17

相談内容内訳

内 容	件数 (延)	内 容	件数 (延)
障害に関すること	8	就労・復職	8
診断・評価	6	日常生活	7
診断書作成	2	就学・復学	0
リハビリ	8	家族交流会	3
相談機関	8	連携パス	0
サービス・支援資源	11	その他	36
制度	8	計	105

相談の内容は、単独ではなく高次脳機能障害に関することから日常生活や就労に関すること等多岐に渡るため、相談件数と相談内容の数は一致しません。

② 家族学習会

開催日・会場	内 容	対象	参加者数
R4. 10. 17 県子ども総合センター 集合型とオンライン型のハイブリット方式	1) 講話 ①「高次脳機能障害 日常生活で生じやすい困りごととその対応について」 講師：東北医科薬科大学病院リハビリテーション部言語心理部門 言語聴覚士・公認心理士 高次脳機能障害支援コーディネーター 目黒祐子 氏 ②「高次脳機能障害の方が利用できる福祉制度やサービスについて」 講師：東北医科薬科大学病院患者支援・医療連携センター 社会福祉士 大野美和子 氏 2) 情報交換	当事者の家族	5人

(2) 研修事業

①広域研修

開催日・会場	内 容	対象	参加者数
R4. 11. 9 県総合教育センター オンライン (ライブ配信)	講演「高次脳機能障害の理解とその対応について」 講師 東北医科薬科大学病院 高次脳機能障害支援センター センター長・神経内科医 藤盛 寿一 氏	一般県民	75人

②基礎研修

開催日・会場	内 容	対象	参加者数
R5. 3. 7 県子ども総合センター 講師は会場、参加者はオンラインで受講	講演 「高次脳機能障害のある方に対する自動車運転支援について」 講師 公益財団法人宮城厚生協会 坂総合病院 リハビリテーション室 作業療法士 菅野 俊一郎 氏	医療機関、市町村、相談支援事業所、障害者就業・生活支援センター、地域包括支援センター、県保健福祉事務所(地域事務所)等職員	49人

(3) 担当職員養成事業

関連する会議・研修等への参加（オンライン研修の受講）

開催日	内 容
R4. 6. 29	第1回高次脳機能障害支援普及事業全国連絡協議会 第1回高次脳機能障害者支援コーディネーター全国会議
R4. 7. 20～22	高次脳機能障害支援・指導者養成研修会（基礎研修）
R4. 9. 10	富山県高次脳機能障害リハビリテーション講習会
R4. 11. 26	宮城県高次脳機能障害者支援事業 第1回専門研修会
R4. 12	高次脳機能障害者支援事業担当者東北ブロック会議（書面開催）
R5. 1. 18	宮城県高次脳機能障害リハビリテーション講習会
R5. 1. 20	宮城県高次脳機能障害者支援事業 第2回専門研修会
R5. 2. 17	第2回高次脳機能障害支援普及事業全国連絡協議会 第2回高次脳機能障害者支援コーディネーター全国会議

(4) 支援体制の整備

① 保健福祉事務所等への支援

主 催	開催日	内 容	支援内容
県総合教育センター	R4. 7. 27	重度・重複障害教育研修会	講師
県仙台保健福祉事務所	R4. 10. 3	第1回高次脳機能障害者家族交流会	出席
(株) スタッフサービス・クラウドワーク	R4. 11. 28	社内勉強会	講師

② 検討会（ネットワーク会議）

開催日・会場	内 容
R5. 2. 10 県子ども総合センター オンライン形式	<p>参集：支援拠点病院、地域支援拠点病院、保健福祉事務所、仙台市、障害福祉課等 14機関 29人</p> <p>内容：</p> <p>(1) 講演 「東北大学病院における高次脳機能障害者支援について」 講師 東北大学大学院 医学系研究科・高次機能障害学教授 鈴木 匡子 氏</p> <p>(2) 高次脳機能障害支援機関における現状の共有</p> <p>(3) 情報交換等</p>

③ 広報等

実施日	内 容
R4. 4. 22	当所「身体障害者福祉担当職員研修会」において行政説明
随 時	障害福祉課「指定障害福祉サービス事業者等集団指導」において事業パンフレット提供
随 時	ホームページ更新

6 その他

(1) 令和4年度学会発表・研修会講師等一覧

年月日	学会・研修会等名称	演 題	開催地	演者
R4. 4. 22	令和4年度 身体障害者福祉担当職員研修会	身体障害者更生相談所概論	名取市	西嶋一智
R4. 5. 20	令和4年度5月センター勉強会	リハビリテーション支援センターの新型コロナウイルス感染症対策	名取市	西嶋一智
R4. 6. 23	第59回日本リハビリテーション医学会学術集会	身体障害者（肢体不自由）手帳診断書・意見書の書き方	神奈川県 横浜市	西嶋一智
R4. 7. 6	令和4年度福祉機器専門職員研修会	身体障害者更生相談所概論	埼玉県所沢市 (Web 開催)	樫本 修
R4. 9. 30	リハビリテーション・ケア合同研究大会 苫小牧2022	障害者の地域リハビリテーションを続ける宮城県の取組事例	北海道 苫小牧市	西嶋一智
R4. 10. 6	令和4年度ファルマバレーバイオデザインセミナー	制度で採用される機器を作るために	静岡県静岡市 (Web 開催)	西嶋一智
R4. 10. 8	第38回日本義肢装具学会学術集会	切断者の疫学と義足処方	新潟県新潟市	西嶋一智
R4. 11. 6	第6回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会	① 補装具費支給制度における義足処方の課題 ② 身体障害者手帳診断書（肢体不自由）作成の留意点	岡山県岡山市	西嶋一智
R4. 11. 27	2022年度リハビリテーション医学会東北地方会生涯教育研修会	切断に対するリハビリテーション治療	仙台市青葉区 (Web 開催)	西嶋一智

R5. 2. 18	第3回 補装具の効果的なフォローアップに関するシンポジウム	宮城県の補装具フォローアップ事業の検証	東京都 (Web 参加)	樫本修
R5. 3. 18	CORABOSS 東北	生活期脳卒中患者に対する更生用装具の初回判定における下肢痙縮の実態	仙台市青葉区	西嶋一智

(2) 論文・原稿掲載等一覧

著者	論文名	掲載雑誌等
樫本 修	樫本修、西嶋一智ら：身体障害者更生相談所を要としたフォローアップの実現に向けて	補装具費支給制度における適切なフォローアップ等のための研究(20GC1012) 令和3年度総括・分担研究報告書. 7-13、2022
	樫本修、西嶋一智ら：宮城県の補装具フォローアップ事業の検証	補装具費支給制度等におけるフォローアップ体制の有効性検証のための研究(22GC1010) 令和4年度中間報告書. 7-13、2023
西嶋一智	西嶋一智：身体障害者(肢体不自由)手帳診断書・意見書の書き方	The Japan Journal of Rehabilitation Medicine vol. 59. Supplement 号、S183、2022
	西嶋一智：補装具費支給制度における義足処方への課題	The Japan Journal of Rehabilitation Medicine vol. 59. Autumn 号、S267、2022
	西嶋一智：身体障害者手帳診断書(肢体不自由)作成の留意点	The Japan Journal of Rehabilitation Medicine vol. 59. Autumn 号、S228、2022
	西嶋一智：身体障害者更生相談所	総合リハビリテーション、第50巻、7号、803-812、2022
	浅川育世、西嶋一智ら：支援機器の選定・導入運用ガイドラインの作成	リハビリテーション関連職等が支援機器の適切な選定・導入運用時に用いるガイドラインの開発(21GC2003) 令和3年度分担研究報告書. 2-5、2022

	硯川潤、西嶋一智ら：ガイドライン利用モデルの構築および課題抽出	リハビリテーション関連職等が支援機器の適切な選定・導入運用時に用いるガイドラインの開発(21GC2003) 令和3年度分担研究報告書. 2-5、2022
	西嶋一智：モニター評価を实践する人材の育成プログラム開発 ～モニター評価に必要な能力評価(スキルチェック)シートの作成～	障害者の支援機器開発におけるモニター評価手法の開発及びモニター評価を实践する人材育成プログラム開発のための研究(21GC2001) 令和3年度分担研究報告書. 2-7、2022

(3) リハビリテーション専門職養成施設校講義等

年月日	学校名	内容	備考
R4. 11. 14	東北大学 医学部保健学科看護学専攻	リハビリテーション学 「脳卒中と後遺症 -リハビリテーションにおける「医学」-」	2年生 70名
R4. 12. 2 R4. 12. 9	東北文化学園大学 医療福祉学部リハビリテーション 学科理学療法学専攻	義肢装具学 ①「切断術と断端管理」 「補装具の支給体系」 ②「切断の医学的リハビリテーション」	2年生 80名

(4) 研究活動・その他

氏名	内容
樫本 修	全国身体障害者更生相談所長協議会 補装具判定専門委員会 委員長
	日本リハビリテーション医学会 切断義肢SIG 顧問
	厚生労働省補装具評価検討会 構成員 (座長)
	厚生労働科学研究 「補装具費支給制度等におけるフォローアップ体制の有効性検証のための研究」 (22GC1010) 分担研究者
西嶋一智	東北大学医学部医学科・保健学科 学部非常勤講師
	東北文化学園大学 非常勤講師

<p>日本リハビリテーション医学会 代議員 障がい者福祉委員会 委員 身体障害者診断書・意見書の書き方作成委員会 委員 専門医委員会 委員 切断義肢SIG コアメンバー 痙縮治療SIG コアメンバー 試験委員会 特別委員（専門医試験委員） 東北地方会 幹事</p>
<p>日本義肢装具学会 認定制度委員会 委員 義肢装具等支給制度対策委員会 委員</p>
<p>全国身体障害者更生相談所長協議会 補装具判定専門委員会 委員</p>
<p>全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会 理事</p>
<p>東北摂食嚥下リハビリテーション研究会 幹事</p>
<p>厚生労働科学研究 「補装具費支給制度等におけるフォローアップ体制の有効性検証のための研究」 (22GC1010) 研究協力者 「リハビリテーション関連職等が支援機器の適切な選定・導入運用時に用いるガイドラインの開発」(21GC2003) 研究分担者 「障害者の支援機器開発におけるモニター評価手法の開発及びモニター評価を実践する人材の育成プログラム開発のための研究」(21GC0101) 研究分担者 「真のニーズに基づく支援機器の開発・事業化を実現するための出口・普及を想定した支援ネットワークモデル構築のための研究」(22GC0801) 研究分担者</p>

(5) 養成施設校実習指導等（看護職・リハビリテーション専門職）

年月日	学校名	内容	備考
R4. 6. 22 R4. 7. 13	東北福祉大学 健康科学部保健看護学科	リハビリテーション支援センターの概要と業務に関すること	4年生 5名
R4. 10. 11～10. 12 R5. 2. 14～2. 15 2. 28～3. 1	宮城大学 地域看護学群		3年生 実14名 延28名
R5. 3. 15	東北保健医療専門学校 理学療法		1年生 68名